

さいたま市の財政状況



さいたま市

平成24年10月

さいたま市財政局財政部財政課





目次

1	さいたま市のプロフィール	
(1)	概要	2
(2)	人口分布	3
2	さいたま市の主な取組み	
(1)	公共施設マネジメントの推進	4
(2)	既成市街地の再生と都市機能の集積・再配置	5
(3)	さいたまスポーツコミッション	6
3	さいたま市の財政状況	
(1)	平成23年度一般会計決算の概況	7
(2)	一般会計歳入決算状況	8
(3)	一般会計歳出決算状況	9
(4)	各種財政指標の比較	10
4	将来の財政運営を見据えた市債の借入	
(1)	市債の借入の考え方、(2)資金区分別市債借入額の推移(一般会計)	11
(3)	プライマリーバランス、市債残高の推移(一般会計)	12
(4)	市場公募地方債の発行	13
(5)	平成24年度さいたま市シンジケート団シェア	14

1 さいたま市のプロフィール

(1) 概要

人口124万人を擁するさいたま市は、東北・上信越地方など広大なマーケットを後背に持ち、優れた交通インフラにより首都圏と東日本の交流拠点となる都市

新幹線5路線をはじめ、JR各線や私鉄が結節する交通の要衝。

湘南新宿ラインの浦和駅停車や東北縦貫線の整備により東京駅以南への直通運転を予定。

変遷

- ・平成13年5月 浦和・大宮・与野の3市合併により「さいたま市」誕生
- ・平成15年4月 政令指定都市へ移行（全国で13番目）
- ・平成17年4月 岩槻市と合併
- ・平成23年度 市制施行10周年

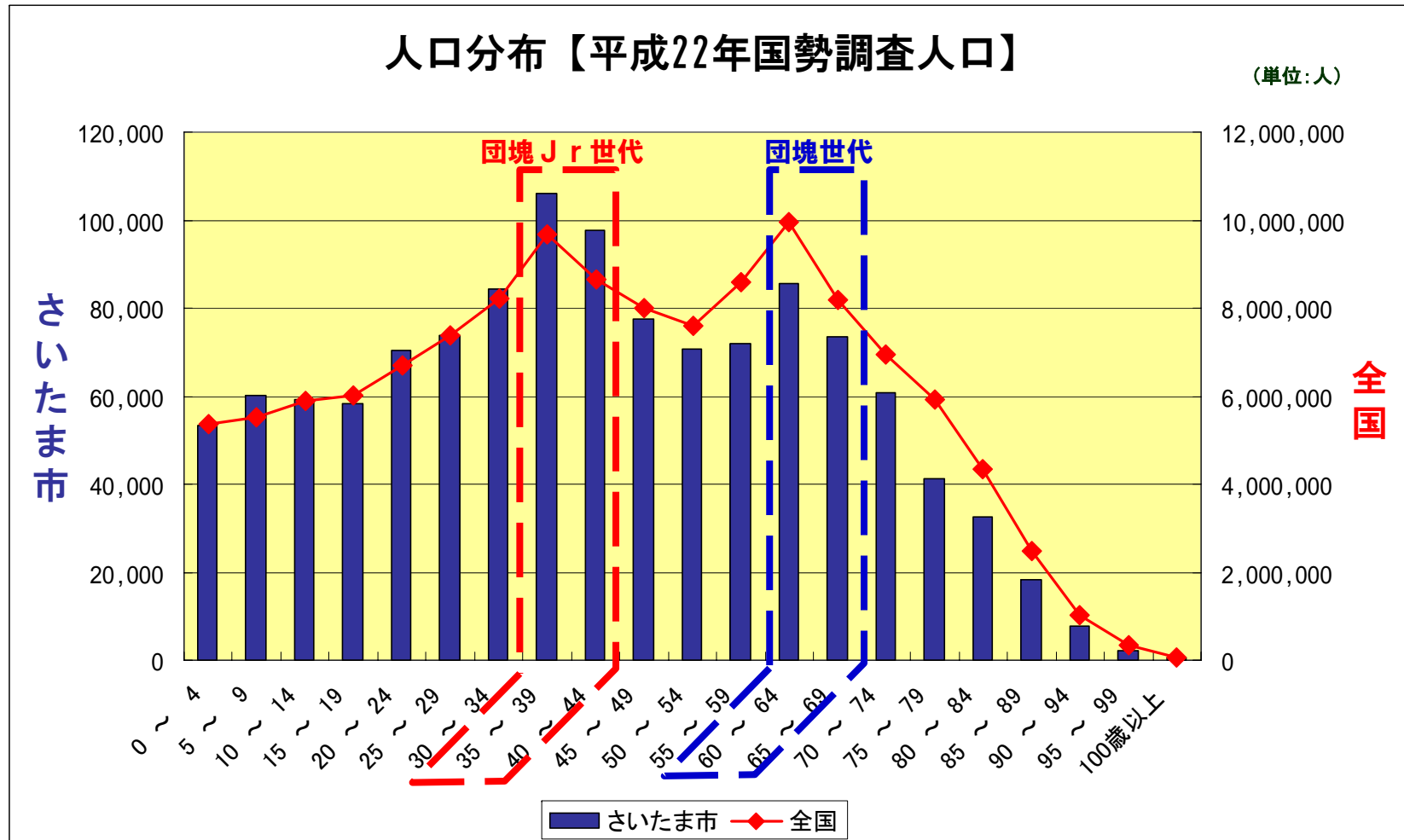
(平成24年10月1日現在)

面積	217.49km ²
総人口	1,237,926人
世帯数	533,292世帯
人口密度	5,691.9人/km ²
平均年齢	42.26歳
人口増加率	4.0%

人口増加率は、平成17年と平成22年国勢調査から算出



(2)人口分布



2 さいたま市の主な取組み

(1) 公共施設マネジメントの推進

- 平成24年6月制定 『さいたま市公共施設マネジメント計画』

<目的>

・市民が安心・安全で持続的に施設を利用できるよう計画的な投資

<計画期間>

・平成24年度から平成62年度までの39年間

<施設整備の考え方>

- ①長寿命化・アセットマネジメント ②事前協議 ③複合化
- ④PPPの推進 ⑤防災対策の推進 ⑥機能転換を織り込む

さいたま市公共施設マネジメント計画では、インフラ（都市計画施設、企業社会施設）については、都市計画部課や公営下水道の管轄にも見られるように本市の関連部署が協力を担って取り組むことも踏まえ、一定の新規整備を継続することとしているため、ハコモノ（市街地再開発、行政施設）を大別して、全体目標を設定しています。

どのように対応するか ④

例えば、学校の建替え時に近くの公園等を一体的に整備するなど、施設を建替えと併せて、周辺の施設を一緒にするのを「複合化」です。

複合化する工事はどうでしょうか

吹田家では、わしの住む家を貸し出す工夫をしたが他に...

「第4のシナリオ」これが、「公共施設マネジメント計画」というものなんです！

「3つのシナリオ」はいやだな。「第4のシナリオ」はどんなものなの

「さいたま方式の公共施設マネジメント計画」

全体目標	
【ハコモノ三原則】	<ul style="list-style-type: none"> ■新しい施設は原則としてつくりたくない（今持っている施設を有効活用する） ■今持っている施設を建替える場合には複数の施設を同じ敷地にまとめてつくり直す（複合化） ■今持っている施設の量（床面積）を今後40年間で15%程度減らす
【インフラ三原則】	<ul style="list-style-type: none"> ■今持っているインフラの改修・更新経費（一般財源）を維持する ■ライフサイクルコスト（施設の生涯に必要な総費用）を減らす ■効率的に新たな市民のニーズに対応する

※ 具体的な取組みの第一歩として、「全体目標」をたてました。【ハコモノ三原則】【インフラ三原則】に分けて具体的な行動と数値目標を明示しています。

テーマ④のポイント
 ④「第4のシナリオ」は、「全体目標」を守ることで、なるべく我慢しながらできるだけ工夫して乗り切るシナリオ
 ⇒「第4のシナリオ」は、施設の有効活用・施設の複合化がキーワード

【複合化のイメージ】
 公園、コミュニティセンター、小学校、建替え、老人福祉センター
 複合化のイメージ：小学校・公園、福祉施設の複合施設、地域のコミュニティ活動の拠点施設として建替え
 複合化のメリット：経費の圧縮、多機能化によるサービス向上、利用者間交流の向上、防災機能の強化
 複合化のデメリット：施設まで遠くなる地域がでてくる、市全体では施設数が減る

モテケースで検証
 町・市では、新しい施設を建て、古い施設を壊すのではなく、古い施設を壊さず、新しい施設を建て、古い施設を壊すのではなく、古い施設を壊さず、新しい施設を建て、古い施設を壊す...



市民向けパンフレットより

(2) 既成市街地の再生と都市機能の集積・再配置

交通利便性を活かしながら魅力ある都市空間づくりを進めています。

②[さいたま新都心周辺地区]

広域行政機能、高次の業務・商業・文化機能などが集積。現在、けやき広場南側には、医療施設の移転、駅東口には民間による商業施設の開発が計画 중이다。



浦和駅完成イメージ

③[浦和駅周辺地区]

東口には平成19年度に公共施設「コムナーレ」と大型商業施設が開設。現在浦和駅の鉄道高架事業が進行中。駅構内に東西連絡通路が整備されるほか、湘南新宿ラインの停車を予定。

①[大宮駅周辺地区]

東口において、公共施設の再編による新たな都市拠点の形成や生み出された用地を活用し、駅周辺の再開発や都市基盤整備を展開することを目指す。西口においては土地区画整理を施行し、公共複合施設を整備中。

⑥[岩槻駅周辺地区]

橋上化や東西自由通路の設置など、駅舎の改修を中心とした岩槻駅周辺を整備中。



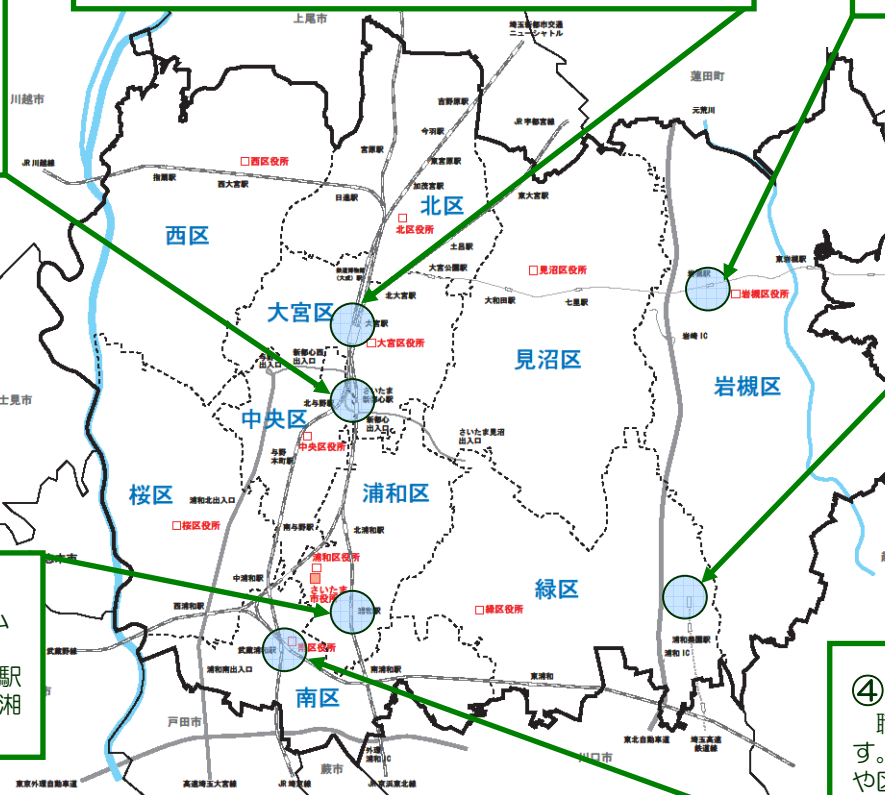
ウイングシティ(美園地区)

⑤[美園地区]

埼玉スタジアム2002を中心としたスポーツ・文化の交流拠点、浦和美園駅周辺を地域交流拠点と位置づけ、自然環境と調和し、安全で快適な住宅市街地を形成するため土地区画整理事業を施行中。

④[武蔵浦和地区]

職住近接型高次複合都市の実現を目指す。現在、駅西側では駅前広場等の工事や区役所や図書館が入るサウスピアが整備中。



(3)さいたまスポーツコミッション

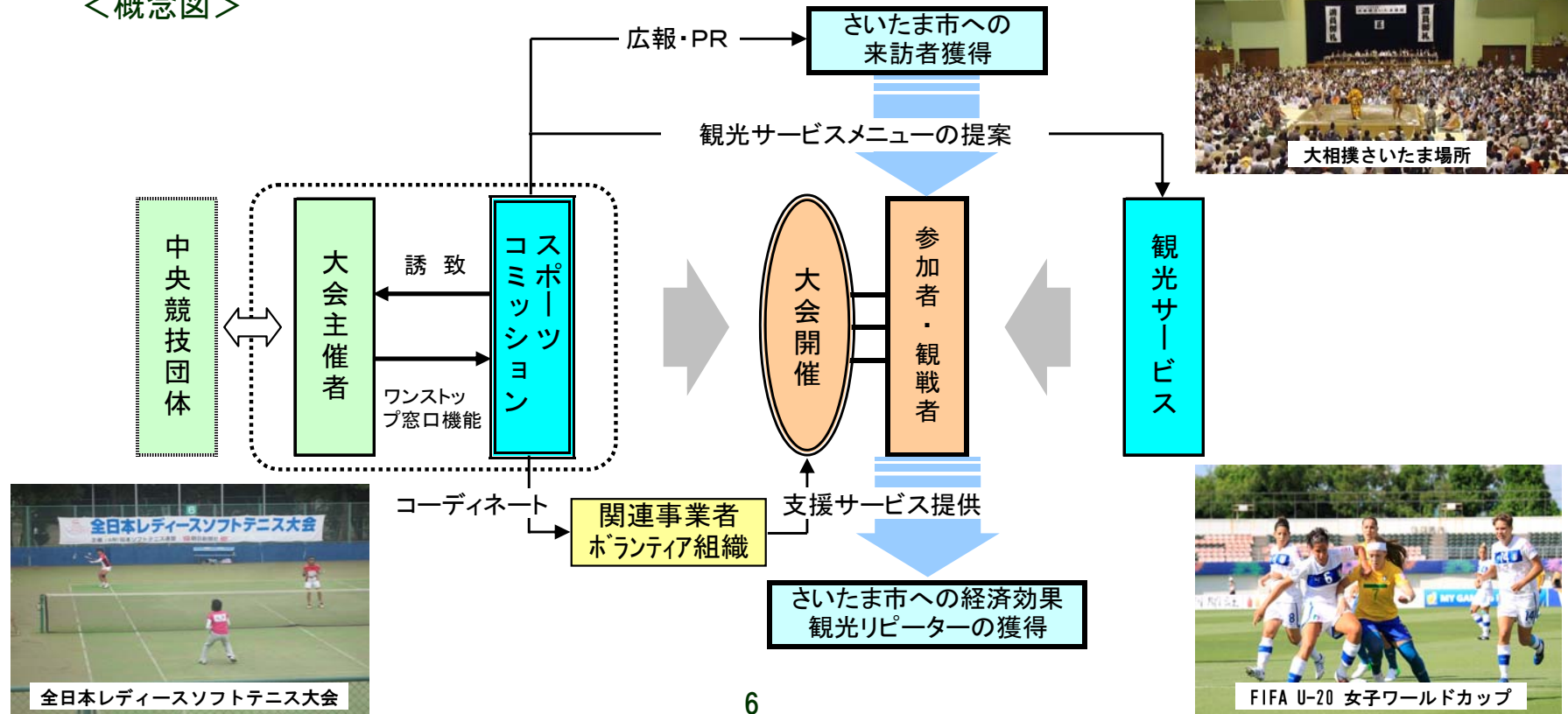
<目的>

スポーツを通じて新たな観光客の拡大を図り、さいたま市の地域経済を活性化する。

<役割>

スポーツ大会誘致のプロモーター + スポーツ大会受入れのコーディネーター

<概念図>

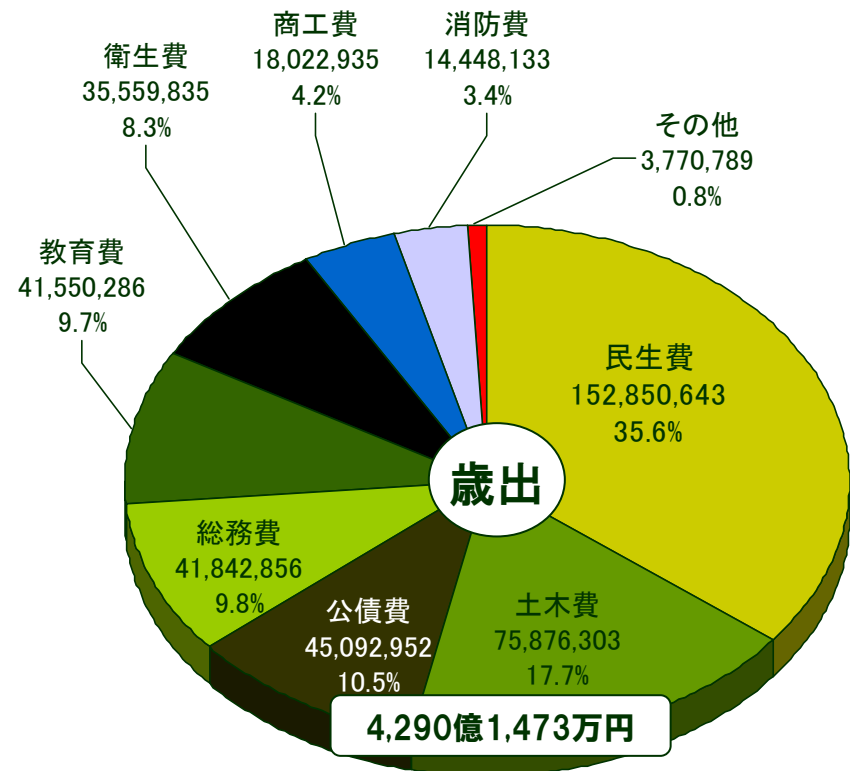
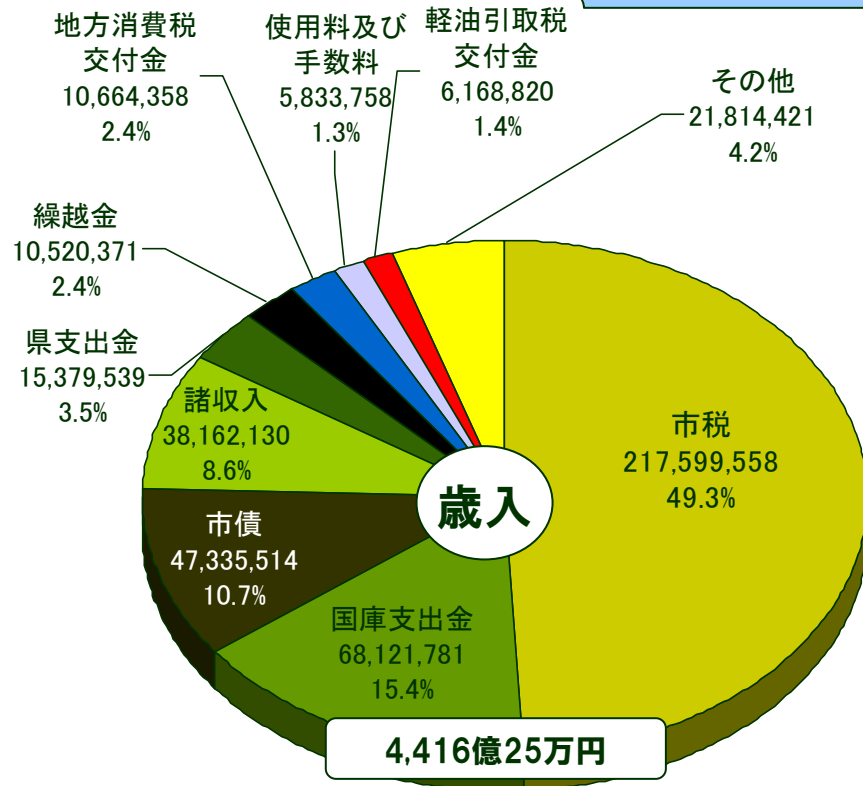


3 さいたま市の財政状況

(1) 平成23年度一般会計決算の概況

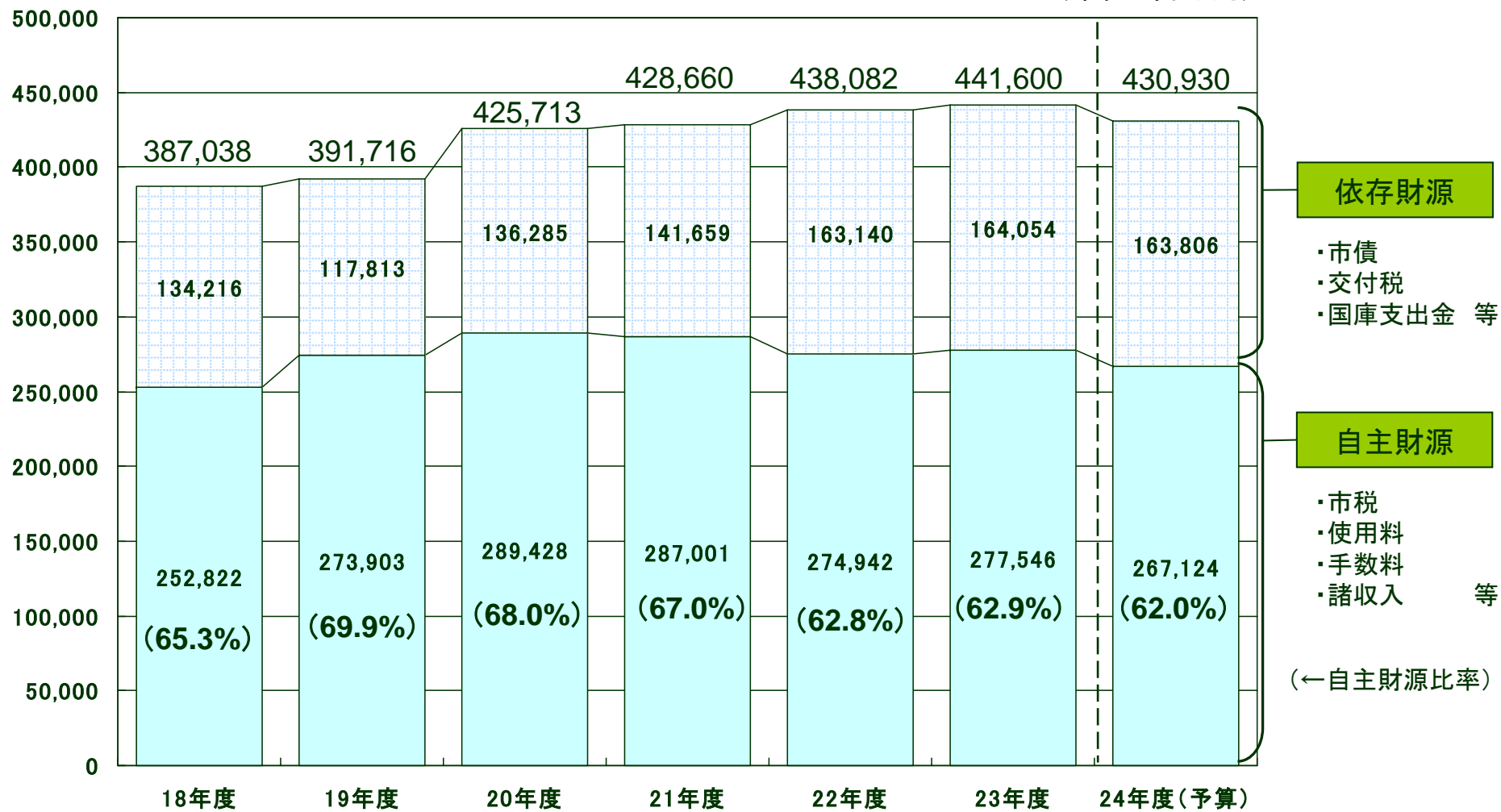
さいたま市誕生以降最大の決算規模
 実質収支は11年連続黒字を達成（65億3,200万円）
 普通建設事業の減少等による市債発行額の減（対前年度比 13.0%）

一般会計決算の内訳（単位：千円）



(2) 一般会計歳入決算状況

(単位 百万円)

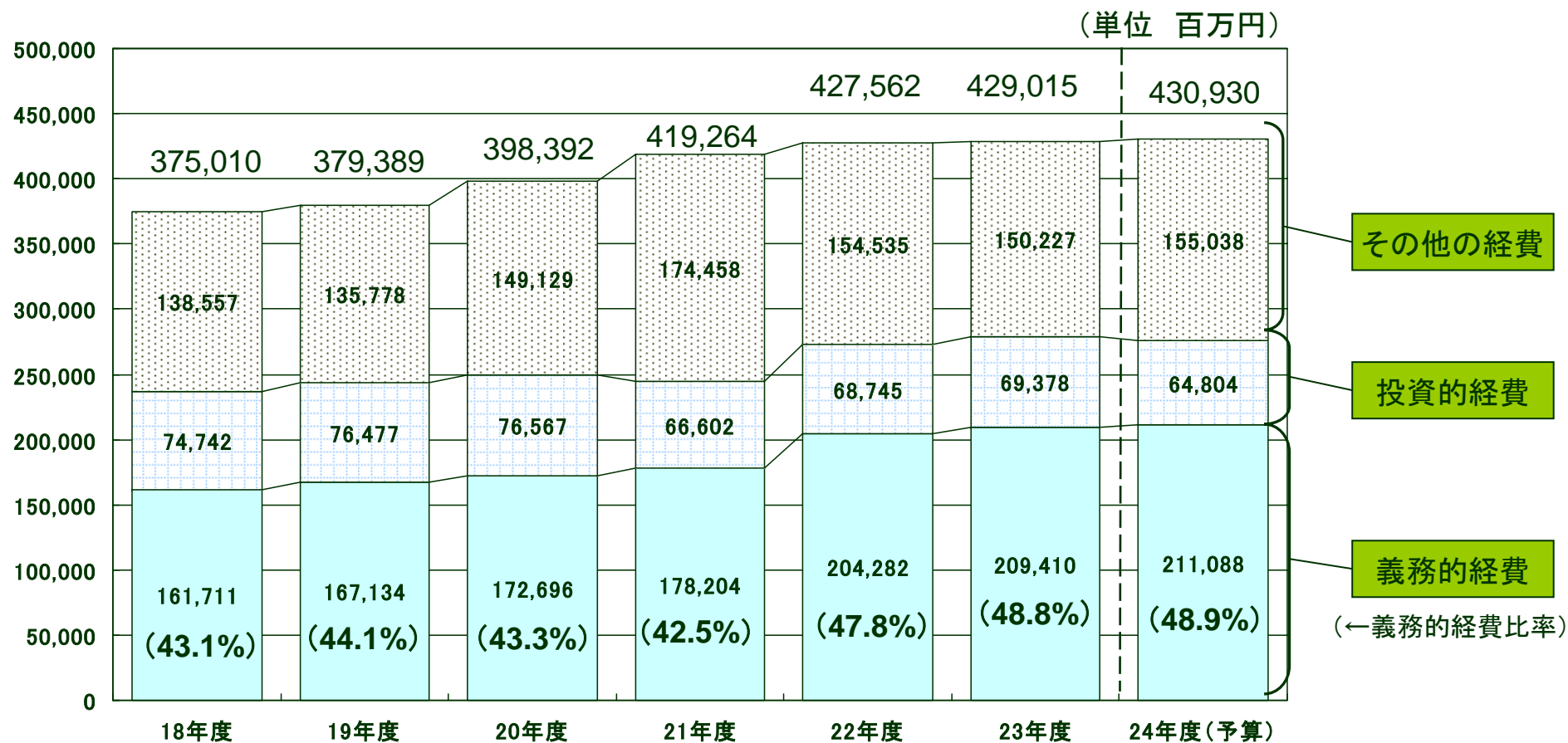


(3) 一般会計歳出決算状況

義務的経費内訳

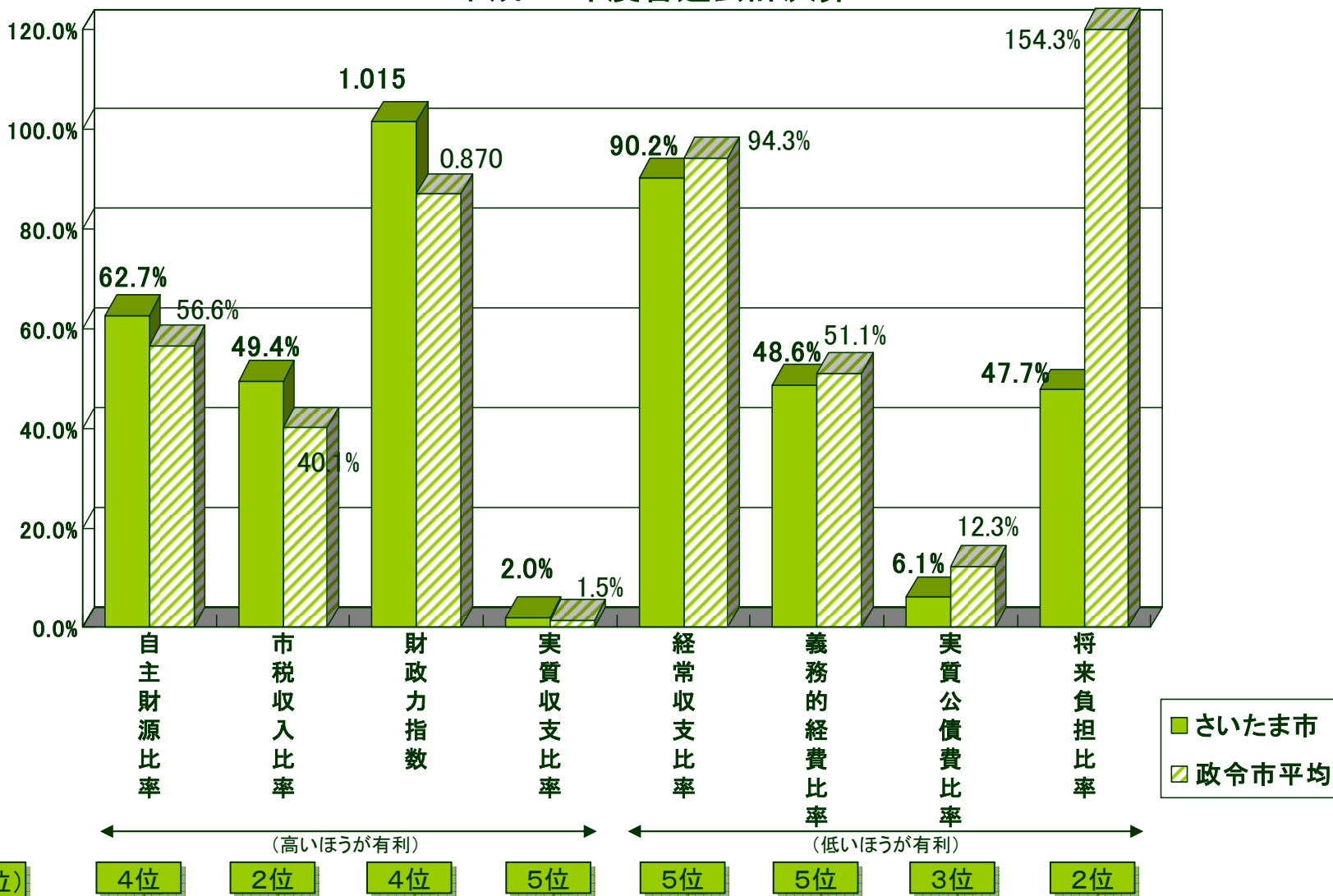
単位:百万円

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (予算)
人件費	77,099	77,403	75,962	75,442	75,783	73,779	75,146
扶助費	49,619	54,163	56,684	64,136	88,072	95,384	94,506
公債費	34,993	35,568	40,050	38,626	40,427	40,247	41,436
合計	161,711	167,134	172,696	178,204	204,282	209,410	211,088



(4) 各種財政指標の比較

平成22年度普通会計決算



4 将来の財政運営を見据えた市債の借入

(1) 市債の借入の考え方

- ①市債の借入により、財政負担の平準化や世代間の負担の公平化を図っています。
- ②健全な財政を将来にわたって維持するため、市債発行の抑制に努めています。

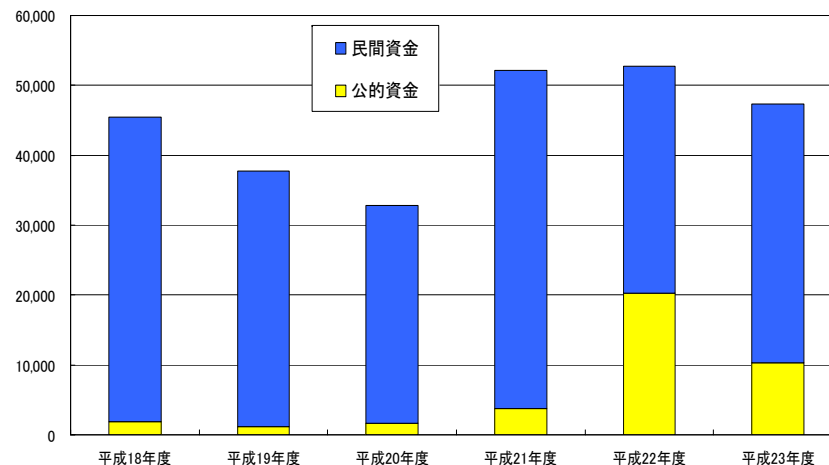
(2) 資金区分別市債借入額の推移(一般会計)

(単位:百万円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
公的資金	1,854	1,190	1,601	3,731	20,216	10,368
民間資金	43,566	36,595	31,199	48,388	32,534	36,968
合計	45,420	37,785	32,800	52,119	52,750	47,336

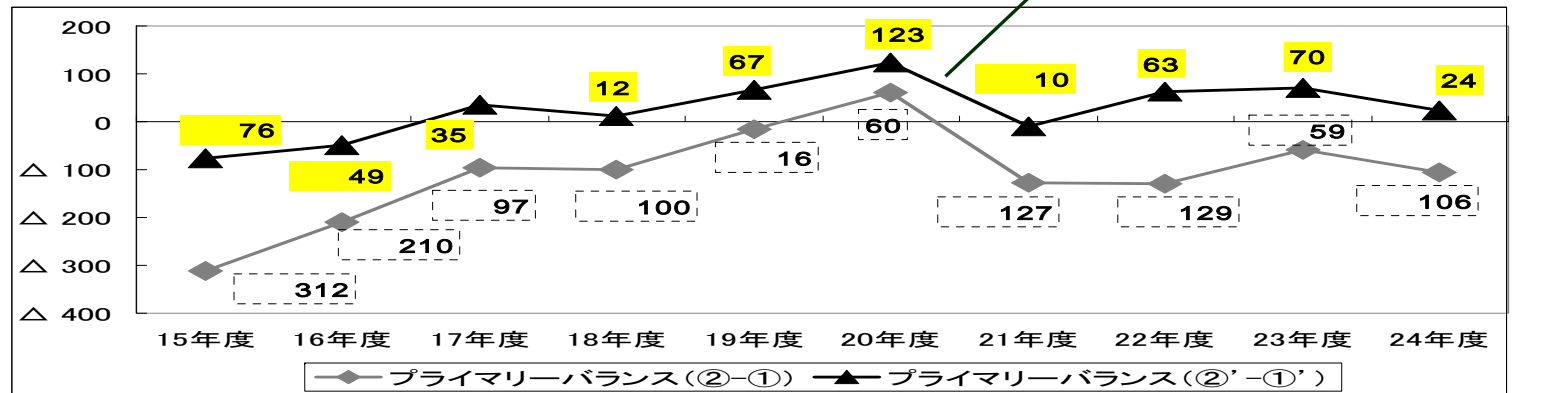
※借換債を除く

※国の予算等貸付を除く



(3)プライマリーバランス、市債残高の推移(一般会計) ※平成24年度は予算額

プライマリーバランス(②公債費-①市債発行総額)の状況

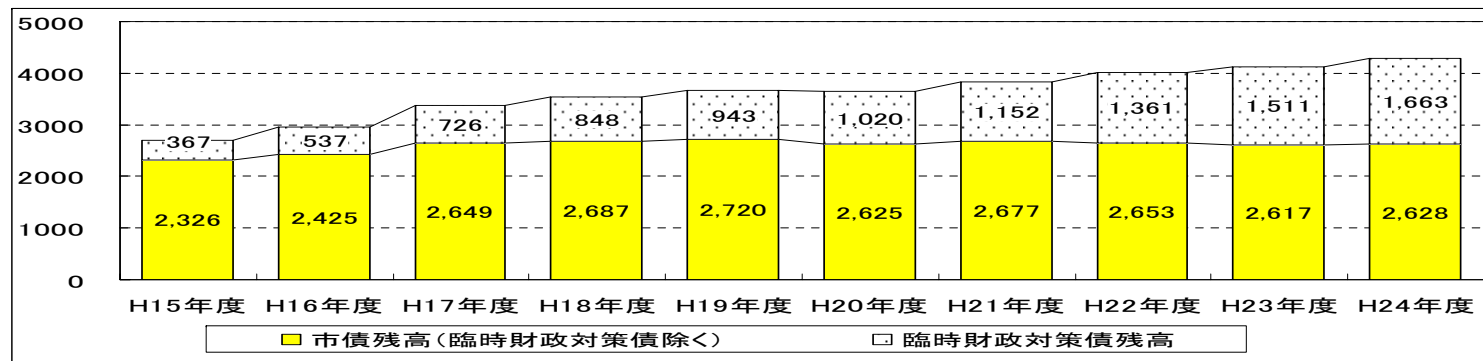


※借換分を除く。※24年度は当初予算額。

市債残高の急増を抑えるため、公債費(元金+利子)-市債発行額の黒字を維持

市債残高の推移

(単位:億円)



(4)市場公募地方債の発行

発行実績

さいたま市では、資金調達の多様化を図り、安定した資金調達を行っていくために、平成15年度より、市場公募地方債（満期一括償還）を年1回、100億円発行しております。

条件交渉方式は、平成17年度までは総務省による統一条件交渉方式でしたが、平成18年度途中（9月）より各地方公共団体による個別条件交渉方式に移行しております。

【過去5ヶ年市場公募地方債発行実績】

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
発行額	100億円	100億円	100億円	100億円	100億円
条件決定日	H19.12.7	H20.12.5	H21.12.4	H22.12.7	H23.12.7
発行日	H19.12.25	H20.12.25	H21.12.25	H22.12.24	H23.12.22
償還日	H29.12.25	H30.12.25	H31.12.25	H32.12.24	H33.12.22
表面利率	1.71%	1.56%	1.34%	1.21%	1.06%
発行価格	99円94銭	99円99銭	99円98銭	99円93銭	99円93銭

(5) 平成24年度さいたま市シンジケート団シェア

① 銀行

名 称	シェア(%)	備考
埼玉りそな銀行	18%	代表受託兼幹事
みずほコーポレート銀行	13%	副受託兼幹事
武蔵野銀行	5%	
埼玉縣信用金庫	3%	
さいたま農業協同組合	1%	
小 計	40%	

② 証券

名 称	シェア(%)	備考
みずほ証券	10%	幹事
大和証券	9%	
SMBC日興証券	6%	
野村証券	5%	
三菱UFJ・MS証券	5%	
しんきん証券	5%	
ゴールドマン・サックス証券	5%	
みずほインベスターズ証券	5%	
東海東京証券	5%	
岡三証券	5%	
小 計	60%	



【連絡先】

さいたま市財政局財政部財政課 財源係

住所 〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4

電話 048-829-1155

FAX 048-829-1997

E-mail zaisei@city.saitama.lg.jp